

スポーツ離れを考える(松尾スポーツ少年クラブ)

学校体育施設開放運営委員会が年4回開催され、小学校と中学校の校庭・体育館を使って行われている社会体育についてその管理や運営を中心に、広くスポーツについて話し合っている。12月の会議では「子どものスポーツ離れについて」話し合わされた。青少年健全育成会では、この会議に先立って「松尾スポーツ少年クラブ」の代表者の方にアンケート調査を行いその結果を報告した。アンケートの集約結果と会議で話し合われたことを紹介します。

1 小学生の「けいここと」について（小学校の資料から）

- ・「学習塾」へ行っている児童は全体の約17パーセントであり、学年が進むと増える傾向にあり、5・6年生は20パーセントになっている。
 - ・けいこごとを「文化系」と「体育系」に分けてみると、「文化系」のけいこごとを行っている児童は、どの学年も3割程度で学年の差は見られない。「運動系」のけいこごとは5割の児童が取り組んでおり、学年が進むにつれて増える傾向にある。高学年（4年生以上）では、約6割になっている。（表1参照）
 - ・ここ5年間の様子をみると、児童数が減っていることを考えると、けいこごとして運動系を行っている児童数は減ってはいない。しかし、もっと多くの子どもにスポーツをする楽しさを味わってもらいたい。

表1 松尾小学校「運動系けいここと」と「松尾少年スポーツクラブ」

| 学年 | 児童数 | 小学生で運動系のけいごとを行っている児童 | 松尾少年スポーツクラブへ加入 | | | | | | | 松尾少年スポーツクラブ以外へ入っている | |
|----|-----|----------------------|----------------|-----|----|-----|------------------------------|------------------------|-----|---------------------|--|
| | | 人数 | 割合(%) | 男子 | 女子 | 計 | 運動系を行っている子供のスポーツ少年団の加入の割合(%) | 学年別児童のスポーツ少年団の加入の割合(%) | 人数 | 割合(%) | |
| 1年 | 140 | 38 | 27.1 | 14 | 5 | 19 | 50.0 | 13.6 | 19 | 50.0 | |
| 2年 | 117 | 51 | 43.6 | 13 | 4 | 17 | 33.3 | 14.5 | 34 | 66.7 | |
| 3年 | 131 | 70 | 53.4 | 23 | 13 | 36 | 51.4 | 27.9 | 34 | 48.6 | |
| 4年 | 113 | 62 | 54.9 | 19 | 15 | 34 | 54.8 | 30.1 | 28 | 45.2 | |
| 5年 | 121 | 71 | 58.7 | 16 | 14 | 30 | 42.3 | 24.8 | 41 | 57.7 | |
| 6年 | 142 | 81 | 57.0 | 31 | 24 | 55 | 67.9 | 38.7 | 26 | 32.1 | |
| 計 | 764 | 373 | 48.8 | 116 | 75 | 191 | 51.2 | 25.0 | 182 | 48.8 | |

(松尾小学校の資料とアンケート調査から作成)

あいさつ標語代表作品

『平成29年度あじさいつ標語23点』



時を越えて

多くの発表されたことがあつてか、地域の皆様が大勢参列されていました。記念イベン
トでは、三十年前に埋められたタイムカプセルに入っていた手紙が紹介されました。その中に「二十年前の昭和六十二年度に生徒会長であった中島さんの手紙がありました。開校三十周年と市制五十周年が重なりましたので、この企画に参加したのではないか」ということでした。中島さんは当時の生徒手帳と文化祭資料も紹介し、「時代を超えて脈々と受け継がれるものを感じ取り緑中生徒会を盛り上げてほしい」と、今の緑中への期待を語ってくださいました。今年度の生徒会正副会長も今回の式典に参加しており、会長の井口さんは「全校生徒の笑顔やつながりを大切にして活動してきました。先輩方が創り上げてきた歴史をさらにパワーアップさせて受け継いでいきたい」と述べました。
私は緑中開校三十周年の翌年、昭和六十三年度から平成一年度まで本校でお世話になりました。開校六十年目にあたる今年度も再びお世話をっています。実は、元生徒会長の中島さんは、現在本校のPTA会員です。これにも、時を越えて繋がっている不思議な縁を感じます。

また、式典の中で、今年度の三遠南信中学生交流会の参加生徒による意見発表も行われました。また、私が交流団長で飯田東中の校長先生が副団長であったのでありました。「自分たちが思い描く十年後のまち」というテーマで考え方などをとて、未来への展望と願いについて堂々と発表してくれました。式典終了後に、何人もの方から「緑中の生徒、いいですね」と声をかけいただきました。

今後も将来を担う人材として生徒たちが羽ばたいていくよう、教育活動に邁進していく所存です。今後ともご支援をお願いします。

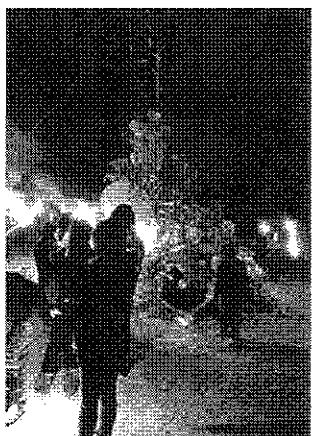
地区だより

明地区では、毎年多くのPTA行事が行われ、どの行事も沢山の児童の方々に参加いたします。春には一年生を迎える会、資源回収、夏祭り、秋はおみこしがあり、分館行事は今年はサイエンス教室をやりました。十二月には、多世代交流会ということもでおやす作りをしました。

一月のおんべは準備の段階から区の執行部、分館、高齢者クラブ、PTAの父母の皆様非常に多くの方々にご協力いただき、大盛況のうちに終える事ができました。

明地区は児童数が多く、まとめるのも大変ですが、楽しい事もより多くの方々と共にしてきたので、良かったと思います。

PTAの今年一年の活動にご協力いただいた方々にこの場をかりてお礼申し上げます。



明 地 図

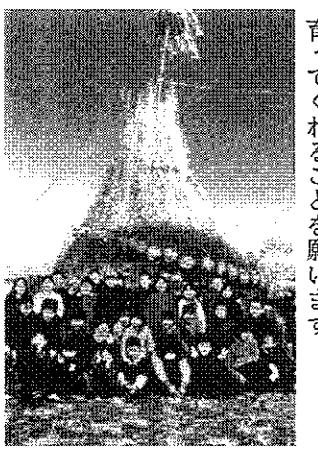
伝統行事おんべ

支部長 伊藤勝彦

おんべにひらて

PTA支部活動最大イベントである
『おんべ』について報告します。

感謝 あらためて御礼致します。
ここ数年は児童数減少や防火上等の問題もありましたが、結局例年並のおんべになりました。来年度以降は少しずつ改善しながら伝統行事を末永く守つて行く事が出来ます様に引き継いでまいる所存です。区民の皆様には今後とも御指導、御鞭撻の程宜しくお願ひ致します。



おんべについて

PTA支部活動最大イベントである『おんべ』について報告します。

一〇月中旬から準備を開始。各関係団体へ協力依頼、河川事務所へ使用願いの提出、広域消防本部への申請等を行いました。

十二月に入り、区民の協力の元、河川敷の草刈り、竹取を実施しました。

一月三日には、地元 龍門寺の御協力により竹を切り出し、きれいに飾り付けられた番傘、幣束を取り付け『おんべ』を、天神様前に飾り立てました。

一月六日には六年生が『おんべ』をふれあい広場まで運び、各御家庭から集めた門松や松飾りでおおきな『どんど焼（ほんやり）』が出来ました。

翌日の六時に無病息災を祈願し、区長と六五年生が点火。その後、お餅（芋？カントリーマーム？ロールパン？）を焼き参加者皆でおいしく頂きました。子供達の笑顔の中、無事終わる事が出来ました。子供達がこれからも伝統行事を継承し、変化を恐れず、心身共に健やかに